

# 令和元年度 児童・生徒の読書状況調査等の結果について＜概要版＞

第三次東京都子供読書活動推進計画（第三次計画） ■計画期間 平成27年度～平成31（令和元）年度

## 目標1 不読率の更なる改善

	H25	H31	H35(R5)	(国の目標)		
小2	2.6%	⇒ 1.8%	⇒ 1.3%	小学校全体で 2%以下を 目指す	H24	H29
小5	5.4%	⇒ 3.8%	⇒ 2.7%		4.5%	⇒ 3%以下
中2	13.2%	⇒ 9.2%	⇒ 6.6%		16.4%	⇒ 12%以下
高2	31.8%	⇒ 22.3%	⇒ 15.9%		53.2%	⇒ 40%以下
						⇒ 26%以下

※不読率とは、1か月の間に1冊も「本」を読まなかった児童・生徒の割合を指す。授業中に読んだものは含まない。

## 目標2 読書の質の向上

### (1) 読む本の質の向上

読書の幅を広げ読解力をつける。

### (2) 読書に主体的に関わる態度の育成

読書に喜びを感じたり、目的を持って本を読んだり、考えを深めたり、他人に伝えたりする。

## 目標3 読書環境の整備

区市町村における子供読書活動推進計画策定の推進及び読書活動を支える人材の育成

## 令和元年度 調査概要

### ■第三次計画に基づき、隔年実施 (平成27、29、令和元年度)

■都内の子供の読書の状況及び公立学校や公立図書館等における読書活動等の現状を把握し、今後の施策に活用することが目的

#### 1 実施期間

令和元年9月上旬～9月中旬  
(この1か月間に本を読みましたか)

#### 2 調査対象

##### (1) 読書状況調査

対象：都内公立学校の児童・生徒  
小学校：32,879人  
中学校：15,721人  
高等学校：44,879人  
(高校2年生のみ全数調査、他学年は5%を目安に抽出)

##### (2) 読書活動取組状況調査

対象：①都立学校及び都内公立小中学校  
2,279校  
②都内区市町村教育委員会  
③都内区市町村読書活動主管課  
(図書館等)

#### 3 調査方法

質問紙により実施

※電子書籍は「本」に含む。

※以下のものは「本」に含まない。

教科書、学習参考書、漫画、雑誌、図鑑、写真だけの写真集・絵だけの絵本、画集

## 児童・生徒の読書状況について

### 児童・生徒の不読率

#### (1) 1か月間に「本」を読んでいない児童・生徒の割合 (%)

	H25	H27	H29	R1
小2	2.6	3.3	3.3	2.9
小5	5.4	5.0	3.7	4.2
中2	13.2	11.1	11.1	9.9
高2	31.8	36.8	28.8	30.6

- ・いずれの学年も計画目標値には届かなかった。
- ・高校2年生は、目標まで8.3ptあり、更なる改善が必要である。

#### (参考) 全国1か月間に本を読んでいない児童・生徒の割合 (%)

	H25	H27	H29	R1
小学生	5.3	4.8	5.6	6.8
中学生	16.9	13.4	15.0	12.5
高校生	45.0	51.9	50.4	55.3

※小学4～6年生が対象

学校読書調査 一部抜粋（全国学校図書館協議会）

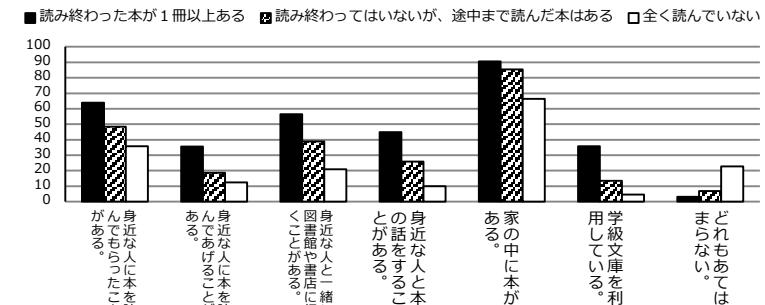
#### (2) 「本」を読まなかった理由【複数回答可】 (%)

	読みたい本がなかった	本を読む時間がなかった	本を読むことに興味がない	文章を読むこと、字を見ることがきらい、めんどう	どれもあてはまらない	無回答
小2	34.0	25.0	39.1	18.6	18.6	5.8
小5	46.5	21.3	43.5	26.5	11.3	10.0
中2	46.5	30.2	53.1	27.8	6.0	4.9
高2	37.0	36.0	39.4	16.2	9.2	4.4

- ・全体的に「本を読むことに興味がない」「読みたい本がなかった」という回答が多い。
- ・高校生は、「本を読む時間がなかった」という回答も多い。

### 身近な環境

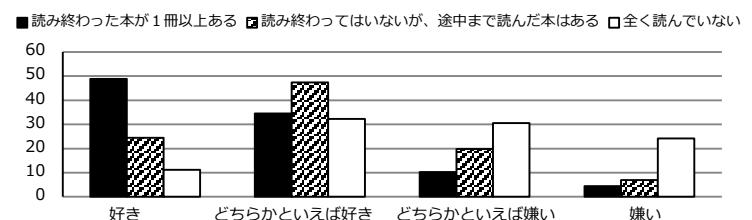
#### 「本」を読んでいる児童・生徒と読んでいない児童・生徒の身近な環境の違い (%)



- ・「本」を読んでいる児童生徒は、身近な人と本を通じてコミュニケーションをとっている割合が高い。
- ・「本」を全く読んでいないと回答した児童生徒は、「どれもあてはまらない」と回答する割合が高くなっている。

### 読書に対する意識

#### 「本」を読んでいる児童・生徒と読んでいない児童・生徒の読書に対する意識の違い (%)



- ・読書が「どちらかといえば好き」と回答した児童・生徒の中でも、「全く読んでいない」割合が一定程度見られる。

## 学校全体の読書活動推進に向けた取組

### 学校経営方針（計画）・学校図書館について

読書活動の推進が学校経営方針（計画）に位置づけられている学校（%）

	H25	H27	H29	R1
小学校	92.6	96.2	98.0	96.7
中学校	86.3	90.9	94.0	93.9
高校	80.7	82.1	82.6	81.7

学校図書館活用の推進が学校経営方針（計画）に位置づけられている学校（%）

	H25	H27	H29	R1
小学校	86.0	92.5	95.9	94.7
中学校	74.6	79.2	88.2	90.3
高校	69.8	70.5	69.1	69.2

### 学校での取組について

朝や昼休み等に読書時間を設定している割合（%）

	H25	H27	H29	R1
小学校	94.6	96.3	96.8	95.3
中学校	90.1	90.5	94.6	93.4
高校	26.3	25.6	22.4	27.6

独自の「課題図書」等のリストを作成している割合（%）

	H25	H27	H29	R1
小学校	51.5	58.9	62.3	58.1
(内訳) 全校	40.5	44.1	51.2	46.4
一部	11.0	14.8	11.1	11.7
中学校	55.8	57.4	59.3	48.7
(内訳) 全校	39.7	41.8	47.4	35.6
一部	16.1	15.6	11.9	13.1
高校	62.5	56.5	57.6	53.4
(内訳) 全校	44.6	37.2	34.4	29.7
一部	17.9	19.3	23.2	23.7

### 学校図書館の利用状況（%）

	H25	H27	H29	R1
小学校	88.9	91.8	89.8	88.5
中学校	54.8	63.0	61.1	61.7
高校	40.4	42.9	41.6	41.2

- 学校経営方針に「読書活動の推進」が位置づけられている学校は、高い割合で推移しているが、前回調査より減少した。
- 同様に「学校図書館活用の推進」が位置付けられている学校は、小・中学校で90%を超えており、学校全体で読書活動推進に取り組もうとする学校は増加している。
- 学校図書館の利用状況は、小・中・高と進むにつれて低下する傾向は継続しているが、中学校は前回調査より増加した。

## 東京都教育委員会の第三次計画期間での主な取組

### 成長段階に応じた全体への働きかけ

#### ＜乳幼児＞

- 保護者向け啓発資料『乳幼児期を大切に』に読み聞かせの有効性、おすすめの絵本等を掲載、区市町村を通して0歳児の保護者に配布及び東京都生涯学習情報ホームページに掲載
- 乳児への読み聞かせに関するQ&Aを都立図書館ホームページに掲載

#### ＜小・中学生＞

- 啓発資料『ひとりでよめるよ』『読み聞かせABC』を改訂し、区市町村立図書館を中心に希望する各所へ配布

- 小学校の教員や学校司書を対象とした読み聞かせに関する研修に講師を派遣

#### ＜高校生＞

- 高校生へのおすすめ本リスト『TAMA selection』を作成し、都内の高校400校の学校図書館及び区市町村立図書館に配布

#### ＜特別な支援を必要とする児童・生徒＞

- 都立特別支援学校の児童・生徒一人一人の障害の状況や発達の段階等に応じて、デイジー図書やICT機器を活用した読書活動、大型絵本等を活用した指導の充実
- 特別支援学校の児童・生徒に対し、校外学習（おはなし会を含む）の受入れ

#### ＜オリンピック・パラリンピック開催を見据えた読書活動の推進＞

- 平成28年度発行の『オリンピック・パラリンピック教育実践事例集』に図書資料の活用事例を示し、都内の全公立学校の取組を支援
- 平成29年度、都立図書館ホームページにオリンピック・パラリンピックのページを設け、調べ学習に役立つ資料リスト等の作成・改訂の実施

### 高校への働きかけ

#### ＜高校生への取組＞

- 調べ学習支援  
各学校の要望に応じて、調べ学習の受入や図書館を利用した文献調査方法の説明を実施
- 生徒と図書館をつなぐ取組  
高校生が本や図書館に親しむ機会として、ワークショップや講演会等を実施

#### ＜学校への取組＞

- 都立学校図書館の開館日、開館時間の拡大
- 都立高校での書評合戦の実施、「高校生による書評合戦 東京都大会」の開催
- 都立学校の教育課程届における「指導の重点」に読書活動を明記
- 司書教諭、学校図書館担当教諭等向け研修を実施
- 新聞に書評が掲載された資料を、青少年向けを中心紹介する「書評情報通信」を発行し、都立図書館ホームページに掲載。都立高校の学校図書館担当者に対し、選書ツールとして周知
- 都立多摩図書館に、高校生を対象とした「英語の多読コーナー」の設置